



## 杉山 弘和

東京大学大学院工学系研究科化学システム工学専攻  
教授

2001年東京大学工学部化学システム工学科卒業、2003年同大学院工学系研究科化学システム工学専攻修士課程修了、2007年ETH Zurich, Institute for Chemical and Bioengineeringにて博士号取得。同年、スイスのF. Hoffmann-La Rocheに入社し、バイオ医薬品注射剤新工場の立ち上げと実生産に従事。2013年東京大学大学院工学系研究科化学システム工学専攻准教授に着任し、以来、医薬品製造プロセスの設計・運転に関する研究に取り組む。2021年より現職。

10月22日(木) 10:20 講演

### 医薬品製造プロセスのデジタル設計とモダリティ展開：Annex 1時代の新アプローチ

QbDの実践やプロセスの最適化に向けた数理モデリング・シミュレーションのアプローチを紹介する。低分子・抗体・肝細胞のモダリティに展開した直近の成果と今後の展望を示す。